

被災文化財の保存と活用の在り方を考える

開催趣旨

1995年の阪神・淡路大震災からはじまった文化財レスキューは、その後、発生したさまざまな災害のなかで、多様な形態の文化財レスキューの経験を積み重ねることで、少しずつ、形を整えてきました。そして、2011年の東日本大震災では救出・一時保管・応急措置を柱とする大規模な文化財レスキューが展開され、大きな成果を上げることができました。一方、文化財レスキューがおこなわれた被災文化財が被災地においてその後、どのような保存活動がおこなわれ、活用されているのかについては事例報告も少なく、文化財レスキュー後の課題となっていると言えます。そこで、本シンポジウムでは文化財レスキュー後の被災文化財の保存と活用の在り方について、事例を共有し、これからの被災文化財の支援の在り方について意見交換をおこないます。

開催日：2022年2月13日（日）（オンライン）

※オンラインのURLは申込受け付け時にお知らせします。

※事前申込制：2022年2月10日13:00までに申し込みください。

プログラム

- 13:00 開催挨拶：三浦定俊（文化財保存修復学会理事長）
- 13:05 開催挨拶：奥村弘（神戸大学副学長）
- 13:10 趣旨説明：日高真吾（国立民族学博物館）
- 13:15 基調講演（40分）
「資料レスキューから生まれた博物館～とみおかアーカイブ・ミュージアムの活動と課題」
門馬健（富岡町生涯学習課）
- 13:55 休憩
- 14:00 事例報告（各25分）
「福島県富岡町津波被災パトカーの保存修復事例」
中尾真梨子（福島県文化財センター白河館）
「岩手県釜石市唐丹町「明治三陸大海嘯記念之碑」の保存修復事例」
和高智美（合同会社文化創造巧芸）
「宮城県石巻市釜谷地区の獅子頭の保存修復事例」
渡邊真吾（東北古典彫刻修復研究所）
- 15:15 休憩
- 15:30 パネルディスカッション（60分）
「被災文化財の保存と活用の在り方を考える」
コーディネーター：間渕創（国立文化財機構）
パネリスト：門馬健・中尾真梨子・和高智美・渡邊真吾
- 16:30 閉会挨拶 本田光子（文化財保存修復学会副理事長）

主催：文化財保存修復学会・国立民族学博物館

共催：特別推進研究「地域歴史資料学を機軸とした災害列島における地域存続のための地域歴史文化の創成」（代表：奥村弘）A班「地域歴史資料継承領域」

後援：日本文化財科学会・国宝修理装飾師連盟・国立文化財機構文化財防災センター



門馬 健 もんま たけし 富岡町教育委員会生涯学習課

東北大学大学院文学研究科博士課程前期修了、修士（文学）。専門は幕末政治史。福島民友新聞社記者を経て2013年から富岡町役場、翌年に富岡町歴史・文化等保存プロジェクトチームを立ち上げ地域資料と震災遺産を保全してきた。2021年7月開館のとみおかアーカイブ・ミュージアムの展示を担当。東日本大震災と原子力災害を地域史に位置づけることを目標に館運営を進めている。



中尾 真梨子 なかお まりこ 福島県文化財センター白河館

奈良大学大学院文学研究科文化財史料学専攻。修士(文学)。2012年より現職にて、埋蔵文化財の保存および保管、活用に関する業務に従事する。東日本大震災、令和元年東日本台風、令和3年福島県沖地震など、自然災害により被災した資料の保存活動に取り組んでいる。



和高 智美 わだか ともみ 合同会社文化創造巧芸

1997年7月から財団法人元興寺文化財研究所技術補佐員として民俗文化財の保存修復に携わる。2004年4月から国立民族学博物館非常勤職員、2007年4月から同プロジェクト研究員として勤務する。2009年4月から独立し、2011年4月に会社を設立。民俗文化財の保存修復ならびに博物館 IPM 支援事業を担っている。



渡邊 真吾 わたなべ しんご 東北古典彫刻修復研究所

1976年生、東京都武蔵野市出身。東北芸術工科大学芸術学部文化財保存修復学科卒業。山形市仏像彫刻現況調査団を経て、有限会社東北古典彫刻修復研究所(上山市)設立に参加、2007年より同副所長。これまで県内及び東北各地を中心に、彫刻文化財の修復や調査研究、保存意識の普及に取り組む。東北芸術工科大学非常勤講師、山形県指定文化財保存実態調査員。



間瀬 創 まぶち はじめ 国立文化財機構文化財活用センター

東京藝術大学大学院美術研究科文化財保存学専攻修了（保存科学）、三重県総合博物館学芸員を経て2019年より現職。博士（文化財）、専門は博物館等の保存環境の計測と制御、現在は博物館 IPM についての研究を中心に、博物館等の保存環境にかかわる相談や調査協力などに従事している。

申し込み
方法

下記、E-mail にて必要事項を記入のうえお申し込みください。
E-mail: bunkazai☆minpaku.ac.jp
※☆を@マークに変換して送信ください。

申し込み
記入事項

- ・氏名
- ・E-mail アドレス
- ・所属（勤務先もしくは学校名）
- ・文化財保存修復学会（会員・非会員）

※参加申込みにてご提供いただきました個人情報、本シンポジウムの受付と統計・分析および関連イベントのご案内以外には使用いたしません。